



学びに向かう力の涵養

～質の高い教育 サステイナブルな社会をめざして～

第5学年 公開授業

国語「 単元名 くらべて よもう 」

「固有種が教えてくれること」「グラフや表を用いて書こう」



個別最適な学び

- ・ 毎時間、児童が個人のめあてをもって学習する。
- ・ 個人⇒小グループ⇒全体での交流を基本として学習を進める。
- ・ 毎時間のめあてと振り返りを蓄積し、成果や課題を確認できるようにする。

カリキュラム・マネジメント

- ・ 学習方略を示し、各自が考え、選びながら学習を進めるようにする。
- ・ 社会科、算数の学習とのつながりを意識させるようにする。(資料の読み取り方、選び方)

GIGA スクール構想

- ・ 「ロイロノート」を活用し、自分の考え、話し合いの足跡、毎時の振り返りの蓄積を行う。
- ・ 情報の集約や精査の力育成のために、ホワイトボードを使う。

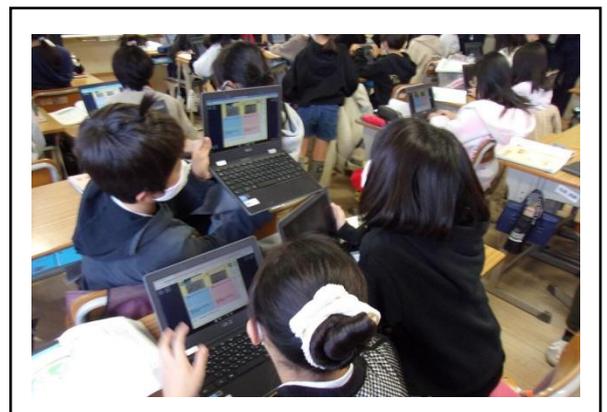


成果

- ・毎時間のめあてをもって学習することで、自分の勉強として意識できた。
- ・学習後には、社会でも教科書と照らし合わせる意識がもてるようになった。地図の読み取りも生かされ復習にもなった。
- ・ロイロノートを活用することで、画像と文章を照らし合わせるなど効果的に学習できた。

課題

- ・具体的な読み取りの場面で、ヒントカードなどの手立てが必要だった。
- ・タブレットを使った交流だと画面に注視してしまいアウトプットが少なくなっていた。



授業の板書

